

杉戸町国際交流協会だより

# すぎとっち

Vol.24  
2016/06/04  
広報委員会

SUGITO INTERNATIONAL ASSOCIATION

## 協会設立 20 周年を迎えて

杉戸町国際交流協会設立 20 周年を迎えることができましたことは、設立以来、歴代の会長をはじめ、役員、事務局職員、そして何より会員皆様からの温かいご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

近年、ますますのグローバル化に伴い、国際交流の重要性を身近に感じる機会が多くなってまいりました。そのような中、私たちは異文化を受け入れ理解する、いわゆる受け身の交流が主流だったように感じます。交流に先立ち、まずは自国の文化について見識を広め、日本人としてのアイデンティティを養うことで、お互いの文化をより尊重した交流が実現できるのではないのでしょうか。

国際交流、さらにはその先に広がる世界平和を思い、時代の流れを見据えた有意義な活動ができますよう、これからも地域の皆様とともに歩んでまいりたいと願っております。 杉戸町国際交流協会会長 持田 康博

## 20周年、そして明日へ（人材育成としての国際交流）

私は昨年、豪バッセルトン市を訪問し、西オーストラリア州連邦議会議長との懇談を始め、様々な見学や意見交換をさせて頂きましたが、これからはグローバル化の中で、世界で活躍する人材、あるいは日本に人やビジネスを引っ張ってこられるような人材の育成が重要だと感じています。

しかしながら、人材育成は成果が見えるまで時間がかかります。また国際交流事業は、一般の方にとってどのような取り組みを行っているのか実感しづらい面もあります。今後、国際交流を充実させていくために、さらに地域や社会の理解を得ることが必要であり、そのためには目指す方向性や事業の実施状況等を分かりやすく示していくことが必要だと考えます。

顧問 吉良 英敏

## 姉妹都市バッセルトンを訪問して

今回の訪問は初夏に近かったので、白い砂浜と海の青さがとても印象的でした。ホームステイでバッセルトンの皆さんと過ごすことによって異文化を肌で感じられたことは、ツアーでは味わえないとても貴重な体験でした。

友達のファームで馬や羊や大きなトカゲを見せてもらいファミリーと触れ合ったこと、サイクリングしたこと、朝食前にティーカップを持って近くの海辺に行ったこと等々。バスで連れて行っていただいたところはもちろんですが、日常の普通の生活からも彼らの明るくて前向きで、おおらかなオーギー精神が感じられ学ぶことがたくさんありました。訪問を通して友達ができたことは本当に素晴らしく、多くの方々にこの経験をしたいと願っています。

姉妹都市委員会 村上 治美



## 第1回 国際協力・理解講座『杉戸町平和企画展』

杉戸町と杉戸町国際交流協会との共催で、平成27年8月19日（水）から「杉戸町平和企画展」を開催し、カルスタすぎとのオープンギャラリーに写真などを展示しました。

その企画展の集大成とも言えるイベントが、23日（日）に多目的ホールで開催されました。ホールでは2つの映画が上映され、戦後70年たった今でも戦争の悲惨さをまざまざと感じさせられる作品でした。その後、「広島・長崎の原爆被害から考える」をテーマに講演がありました。また、町内各中学校の代表者による「平和祈念作文」の発表が行われ、真剣に平和を求める心に感動しました。

最後に、会場外の西側の庭に、広島市から分けていただいた「被爆アオギリ2世」の苗木を皆さんで植樹しました。これからの成長を見守りたいと思います。

当日は、昌平高等学校の皆さんにもご協力をいただき、心に残る戦後70年の「平和企画展」になったと思います。

国際化推進委員会 渡辺 真理子



## 第2回 国際協力・理解講座『タイ王国大使館訪問』～バスツアー研修会～

平成27年12月10日（木）、第2回国際協力・理解講座としてバスツアー研修会を行いました。師走の忙しい時期にも関わらず、上限40名参加、キャンセル待ちが出るほどの申し込みがありました。

今回、2年前から企画していたタイ王国大使館訪問がようやく実現しました。大使館は本来見学する場所ではないのですが、今まで3回いずれも参加申し込みが多く好評を博しています。タイ王国大使館は新しく改築した方に入れて頂きました。ドライマンゴーとココナッツでのおもてなし、明るく温かな雰囲気の中でのタイ王国大使館の説明に、参加された皆さんは感銘を受けていました。

ビュッフェランチを堪能し、次に行った国立西洋美術館では、自由行動で各自いにしへの西洋の絵画、彫刻等の見学を楽しみました。バスの中でのアトラクション、クイズも盛り上がりしました。あっという間、時間が短く感じられた一日となりました。次回もお楽しみに。

国際化推進委員会 嶋津 桂子

## 第3回 国際協力・理解講座『タイ王国の文化紹介』

平成28年2月21日（日）、小松パパソンさんを講師にお迎えし、タイ王国の文化を紹介していただきました。

当日は、パパソンさん手作りのタイの揚げ菓子や、タイ風の紅茶などをいただきながら、民族衣装を着せてもらったり、民族楽器や舞踊を体験したりと、とても有意義な時間を過ごすことができました。

日本人も多く訪れるタイですが、私達の知らない面をたくさん知ることができて、大変嬉しく思っています。パパソンさん、参加して下さった皆様、本当にありがとうございました。

国際化推進委員会 志賀 千晶



## ネパール大地震復興支援イベント ～ Pray for Nepal नेपालको लागि प्रार्थना ～



平成27年9月6日（日）、西公民館において「ネパール大地震復興支援イベント」を開催しました。昨年4月に発生したネパール大地震の復興支援のために、日本語教室に通うネパール出身のビシュワ・グルンさんと、ビシュワ・カルマチャリアさん達が中心となり企画されました。

第1部では被災地の状況を映像で紹介し、家屋の倒壊や家族を失って悲しみにくれる人々の様子を伝えました。また、「復興のためには観光は重要。ネパール全体が被災しているわけではないので、ぜひネパールを訪れてほしい」と訴え、母国の復興支援を呼びかけました。第2部では手づくりのネパール料理や、ネパール民族音楽・ダンスなどを紹介しました。

当日は125名の参加があり、テレビや新聞でも報道され、多くの方々に震災復興への関心をもってもらう機会となりました。参加費は特定非営利活動法人ミランクラブジャパンに全額寄付され、ネパール被災地の子ども達の支援に充てられました。

国際化推進委員会 篠原 千代子



## ボトルフラッシュ料理教室



平成 21 年、姉妹都市のバッセルトンから訪問団を受け入れるにあたり、ボトルフラッシュ料理教室を立ち上げました。最初、プロの料理人をお願いしましたが、素人は素人の良さがあるということで、私ともう 1 人でメニュー係を担当することにしました。

オーストラリアの朝の習慣として、コーヒーとケーキなど甘いものを食べるがあります。それで、私たちはメニューにお菓子作りを入れることにしました。私たち 2 人ともお菓子作りは得意ではありませんでしたが、訪問団のお客様の好みを考えて挑戦することにし、スフレケーキ、アップルパイ、甘酒カステラなどを作りました。味の好み合うか不安でしたが、バッセルトン訪問団の皆さんに最初のおもてなしとして振る舞うことができ、とても喜んでいただきました。私にはケーキなど作れないと思っていたのですが、今では得意になり友達の家へ招待されたときなどはケーキを焼いて持って行きます。

私たちは国際交流の一つとして、これからもいろいろな料理に挑戦していきたいと思えます。どうぞ料理に興味のある方、バッセルトンとの交流に関心のある方は私たちの仲間になりませんか。お待ちしております。

姉妹都市委員会 及川 久子

## 通訳ボランティア勉強会 閉会にあたって

長年同会の講師を務められたプロの通訳者である大高かおる先生から、成り行きでその後の講師を引き受けてから 5 年が経ちました。

バッセルトン市との交流も 20 周年を迎え、この間日本の英語学習事情も大きく進歩し新しい学習法で学んだ若い人達、職場で毎日英語を駆使している方々、あるいは国際社会で諸経験を積み退職したベテラン達が、ボランティア通訳として多数交流協会に登録されております。毎年の交互訪問事業もこのような方々に支えられ、いつも友好的に何ら問題もなく行われてきました。



この様な状況下、会のボランティア通訳育成の役目は終わったと思えます。バッセルトン姉妹都市協会にはポーリン・ヴークリック会長が近年ますます磨きをかけた日本語を駆使しての活躍もあり、交流が益々盛んになることを望みます。

鈴木 宏

## 日本語教室

日本語教室は、毎週水曜日 10 時から 12 時と、19 時から 21 時に開催しています。

日本語が苦手な外国人の方のために、簡単な日本語の理解力と表現力をつけるために活動し、日本語がまったく分からない方には「ひらがな」の学習から始めて、「サバイバル日本語」を 1 か月くらいで習得させます。この学習が終わると、日常生活で困らない程度の最低限の日本語ができるようになります。



次の学習では、日本語学習定番の教科書「みんなの日本語」を使用して、日本語能力を高めていきます。数年学習した生徒さんは「日本語検定 1 級」に合格し、企業に就職する方もいます。このレベルになると、「女性の品格」を読んだり、「インテリア検定」の学習をしたりします。

生徒さんは熱心なので、スタッフもそれに応えるよう一生懸命に学習をサポートしています。日本語教室ボランティアスタッフ 瀧田 正博

## 防災講話を受講して

平成 28 年 3 月 9 日（水）に、杉戸町住民参加推進課の職員 2 名を講師として招き、日本語教室に通う生徒さんと共に防災講話を受講しました。日本（語）に不慣れな外国の人たちは災害弱者になりがちであり良い機会でした。

地震や火山の活動も多く、さらに最近の異常気象も追い討ちをかける日本、防災知識を高めた確かな情報で身の安全に備えることが重要です。出席した日本語教室に通う生徒の皆さんは、熱心に耳を傾け、非常食や用品に関心を寄せていました。いただいた資料は、さらにやさしくひも解き、折に触れ防災を話題にしていけたらと思えます。

昨年の常総市水害の際、ある生徒は避難所に出向き、母国の料理を提供し喜ばれたと言っていました。逆に彼らに助けられたりもします。

グローバル化が進む今日、杉戸の街にも国外の人を見かけます。お互いがより高い防災意識を持ち、そしてより良い環境が構築されて行くことを望んでいます。日本語教室ボランティアスタッフ 林 薫



## 異文化交流パーティー

平成 28 年 3 月 27 日（日）、西公民館多目的ホールで国際化推進委員会が中心となり「異文化交流パーティー」が行われました。このイベントは、日本人と外国人とが話すことによりお互いの文化を知り、交流を深めてもらおうと毎年開催しており、今回は募集 50 名のところ 70 名近くの参加者が集いました。

まず、海外の料理紹介を行い、タイ料理、フランス料理のほか、特にスリランカ料理においては、スリランカ男性一家総出で午前中から作ってくれたコロッケ（材料は鯖とじゃがいも）を提供してくれました。続いてビンゴゲームを行い、景品は多種多様と用意しましたが残念ながら漏れた方には、ミニタオルを参加賞として受け取っていただきました。

最後は、日本文化の紹介で日本舞踊の師匠により踊りが披露され、創作舞踊を全員が輪になり踊って、楽しい雰囲気の中で終了となりました。

複数の外国人と話す高校生の姿を見て嬉しくなりましたが、まだまだ日本人と外国人との会話が少なく見えたので、来年は会話も楽しんでくれたら良いなと思うとともに、「外国人がもっと参加してくれたなら」との思いが募りました。

国際化推進委員会 岡田 克己



## 杉戸町産業祭参加

平成 27 年 11 月 3 日（祝）、今回もアグリパークゆめすぎとで行われた産業祭に「スタンプラリー」と「バルーンアート」で参加し、広報・会員募集活動を行いました。

## 委員募集！

協会では、現在 3 つの委員会（国際化推進委員会・姉妹都市委員会・広報委員会）が活動していますが、あなたも一緒に楽しく活動してみませんか。どなたでも気軽に委員会にご参加ください。



## 平成27年度団体会員、法人会員の紹介

### 団体会員（6）

埼玉県立杉戸高等学校 埼玉県立杉戸農業高等学校 杉戸町体育協会 杉戸麺打愛好会小川道場  
杉戸ロータリークラブ 杉の子吹奏楽団

### 法人会員（24）

(有)青柳造園 (有)アグリパークゆめすぎと (有)あすま商事 (株)和泉屋 (株)栗原建設工業 (株)斉田油田  
学校法人志学会学院志学会高等学校 学校法人昌平学園昌平中学・高等学校 (有)杉戸クリーンサービス  
学校法人藤田学園杉戸白百合幼稚園 青翔運輸(株) 大葛建設(株) (株)大三 太平ビル管理(株)  
(有)武井鶏園 中央プリント(株) 東武観光(株)杉戸営業所 (株)ハマナアーキテクト (有)浜名造園  
NPO法人フタバ双葉保育園 細井自動車(株) (株)矢島商店 社会福祉法人椿寿会良宝園 (株)渡勝

### 積極的にご参加ください

皆さん、毎月広報すぎとの「INTERNATIONAL ま〜め〜情報」欄をご覧ください。同欄には協会の企画や活動情報が載っていますので、もっと気軽にもっと積極的にご参加ください。1 人でも多くの方が参加されて、皆で国際交流の輪を作りあげていきましょう。

### 口座振替をご利用ください

当協会の運営とますますの発展のために、皆様には、会費の納入をお願い致しております。金融機関に出向く手間もなくまた事務手数の面からも、ぜひ口座振替をご利用くださるようお願いいたします。

## 杉戸町国際交流協会事務局

埼玉県北葛飾郡杉戸町清地 2 丁目 9 番 29 号 (杉戸町住民参加推進課内)

直通電話・ファックス 0480 (36) 1470

E-mail sugito-int-assoc@muj.biglobe.ne.jp

ホームページ <http://www2u.biglobe.ne.jp/~sugiint>